

マッコニーH.D.、中国生産体制強化

## 広西チワン族自治区に工場

中高級婦人服中心の縫製企業グループ、マッコニーホールディングス（東京、會藝文社長）は、中国広西チワン族自治区に香港資本と合弁で設立した億利達服装有限公司（劉棋洪董事長、總經理）を軸に、中国での生産体制を強化している。

億利達服装は昨年8月、同自治区賀州に香港のメーカー80%、マッコニーホールディングス20%の出資比率で設立。全てマッコニーホールディングス向け生産で、婦人トータルアイテムの生産を目指している。4縫

製ラインで立ち上がったが、夏前には12ラインに増強。将来は24ライン体制を目標にする。一部は日本向けも生産。今後は日本向けも拡大する。

マッコニーホールディングスの主力工場、蘇州マッコニーから4、510人のスタッフを派遣。品質管理や技術指導などを行っている。これにより、「蘇州マッコニーと同様の品質・技術レベルを提供している」（會社長）という。同工場が位置している賀州は、広東省に隣接し、広西チワン族自治区桂林から自

動車で2時間の立地。労働コスト、エネルギーなどのインフラコストが蘇州に比べて安く、顧客に対して競争力のある単価を提供できるとしている。

マッコニーホールディングスは同社をグループ本社として、傘下にマッコニーインターナシ

ヨナル、米国マッコニー、蘇州マッコニーなどの子会社を持っている。日本や欧米のハイファッション商品を対象に、生産やOEM（相手先ブランドによる生産）、ODM（相手先ブランドによる設計・生産）を受注している。